

知立市内の小学校・中学校を対象に出前授業を実施しました。授業で制作された作品は、記念展の会場にてお披露目されました。小学校では、着色した枝とカラーモールを使用して、知立に住む友だち(校内や校外の友だち)みんなが楽しめるようなテント村をつくりました。図工が得意な児童も苦手な児童も普段の授業とは違った素材体験に苦戦しながらも楽しんで取り組んでいました。

ハツ田小学校6年生 立体工作作品展
会場 | 花しょうぶホール ホワイエ

【講師コメント】

小学校では、形や色や素材の特徴を活かし、造形方法を工夫する力を培うことをねらった。枝を縦横無尽につなげ、友だちの作品と合体させる児童や、何本もの針金で塊をつくる児童など、創造性豊かな姿が見られた。



永江智尚先生



[展示の様子]

野外彫刻プロムナード20周年記念事業「出前授業」記録
ハツ田小学校6年生 立体工作作品展

ともだち 集まれ! 知立のテント村

講師：永江 智尚氏 (愛知教育大学 美術教育講座 准教授)
対象：ハツ田小学校 6年生 2クラス (56名)
日時：令和3年1月14日(木) 9:40 ~ 11:30
場所：ハツ田小学校 体育館

制作工程

1 枝を集め、着色する (事前準備)

2 モールを使って、枝をテントの形に組み立てる。
→ 基本形は、三角錐、四角錐、三角柱



3 2で作ったテントにオリジナルの飾りをつける。



4 完成!



いろんな素材を使って作ったよ!



■出前授業の感想(アンケートより抜粋)

- ・この授業をやっても楽しかったです。枝と枝をつけるのが、とてもむずかしかったです。またやりたいと思いました。
- ・私は初めて枝を使って図工で作品をつくりました。なので今までやったことなかったことを体験することができ、よいけいけんになりました。
- ・木やモールを自由に組みあわせる、こんなにも、立体的になり、おもしろく作れることが分かりました。
- ・木とモールでいろいろなものをつくることができた。多くの木をつかって高くしたりできた。モールだけで作ることもできた。
- ・モールで枝と枝をつなげることは発想がなかったので、先生が言ってくださったとき参考になりました。工作にかぎらず、枝と枝のむすび方は勉強になりました。
- ・枝でこんなにカラフルできれいな作品ができるんだとおどろきました。また、枝を作品にするという発想が面白いなと思いました。
- ・私は図工が好きで家でよく物を作っていますが枝や、モールでなにかを作るという発想はありませんでした。今後物を作る時はさんこうにしてみようと思います。
- ・いろんなえだの組みかたや、いろんなモールのつかいかたがわかってとても楽しかったです。
- ・自分で考えて自分の作品を作れたので楽しかったです。また、モールを木にうまくつけるのが大変でした。
- ・きまりは「テント」だけだったので自由にできて、本当に今までの図工の中で楽しかったです。
- ・今回は2時間ぐらしかできなくて、何時間、1日でもできた気がして楽しかったです!木でテントを作るという発想もとてもいいな!と思いました。
- ・1人1人にお話してくれて、とてもたのしかったです。今日のことをきっかけに、図工の時間などでいきたいと思います。
- ・先生たちのアドバイスもあり、とてもいいものが見つくて楽しかったです。固定観念をこわすという考えを知った。そんな考えがあるんだと気づき、面白かった。
- ・もう少し時間を延長してほしかったです。木をモールでつけるのが大変だったけど達成感いっぱい嬉しかったです。
- ・三角すいの見本をみせてくれたのでとても分かりやすかったです。
- ・テントの形に作りたていけいけいではなく、自由に形を決めて楽しかった。
- ・最初の構想とはちがったけどその分ちがった楽しみ方が分かったのですごく楽しかったです。
- ・すぐ自分の思うように出来てうれしかった。最初は不安だったけど、満足いくようにでき、うれしかった。
- ・あまりこうゆうことをやらなくて、今日の貴重な体験がとても勉強になりました。
- ・自分なりの表げんのしかたができたのでとても楽しかったです。
- ・少し難しかったけどいろんなことを考えればできたので楽しかったです。
- ・つくるのは、とちゅうからこつをつかんでかんたんでたのしかったです。これをお父さんやお母さんに見せたいです。くふうして、ブラジルのこっきをつくりたい。
- ・よくはなしかけてくれてしゃべりやすかったしアイデアのヒントをおしえてくれるので作りやすかったです。

■教えてくれた永江先生へ (アンケートより抜粋)

- ・すごく楽しかったし、またやりたいと思いました。今回はありがとうございました。
- ・今日はありがとうございました。すぐたのしかったです。個性を生かしておもしろかったです。
- ・とても分かりやすくてとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・くわしく教えてくれたり、案をだしてくださり、とてもわかりやすかったです。
- ・モールで枝の組み方をわかりやすく、くわしく教えてくださりありがとうございました。
- ・すごく先生たちの話がうまくて分かりやすかったです。
- ・ここをこうするといふなどと、教えてくださったので、楽しくうまく作ることができた。
- ・作り方を教えてくださいありがとうございました。おかげで楽しく作品を作ることができました。アドバイスも参考になりました。
- ・自由にやれて、作品のいいところなどをいってくれてありがとうございました。
- ・教えてくれてありがとうございました!!横を通るたびに「いいね!」「おもしろい!」などほめてくれてうれしかったです!ありがとうございました。
- ・作品を作っているときにアドバイスをくれたので、とてもいい作品を作れました!うれしかったです。
- ・今日はいそがしい中教えにきてくださり、ありがとうございました。これからも、ちょうこくをがんばってください。
- ・私たちのためにハツ田小学校に来てくださりありがとうございました。先生がおっしゃった「から」をやぶるということを生かせるよう生きていきたいです。
- ・ずこうでこんなにたのしいじゅぎょうはありません。またやってみたいです。
- ・また楽しいじゅぎょうをやってほしい。たのしかったです。
- ・優しくおしえてくれて、とても分かりやすくて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・今までにない授業ですごく楽しかったです。ありがとうございました。
- ・すばらしいけいけんができてよかったです。工夫するというのをいしきし、手を動かすということをし、楽しかったです。
- ・図工のおもしろさや、木でたくさんものがつくれるおもしろさがわかりました。
- ・どうしてちょうこくにきょうみをもったのか?
- ・プロムナード以外にどんな仕事をしていますか?
- ・他にも枝やモールや家にあるもので作れる物ってなんですか。いつもなら作っているものも使えうなので教えてください。



中学校では、「知立の鬼」をテーマに、三州瓦で有名な高浜市の粘土を使用して、自らが考える鬼のイメージを焼き物にしました。授業に参加した生徒は、普段の授業では取り扱う機会が少ない素材での造形活動に、新鮮な気持ちで取り組んでいました。

中学校美術部 陶彫作品展
会場 | 緑のパティオ付近

【講師 コメント】

中学校では、イメージに合わせて、粘土の形・位置・寸法・方向を工夫する力を培うことをねらった。禍々しい表情の鬼、ほっこりと癒される鬼など、想いと形を響き合わせるために、造形に熱中する生徒らが印象的だった。



永江智尚先生



[展示の様子]

■出前授業の感想(アンケートより)

- ・焼き物を自分で作るきかいはなかなかないので、きょうな体験になりました。とても楽しかったです。
- ・焼き物をつくってみて、ねん土の形をおもしろい変えたりして楽しかったです。移動は大変でしたが、またやってみたくて思いました。
- ・作っている時分からないことがあった時よくおしえてもらえてすごく楽しくできました。いろんな作品を見てとても楽しかったです(いろんな中学校の)。
- ・意外と作るのが難しくどうしようと思ったこともあったけど、先生などにアドバイスをもらい最後まで作ることができたのでよかったです。
- ・最初は、何も分からなかったけど、作業を進めていくうちに慣れてきたと同時に、デザインや、良い点、直した方がいい点の意見をもらうことができて、とてもさんこうになりました。
- ・アイデアスケッチを参考にしながら自分だけの知立の鬼を制作するのは最初は難しそうだな…とて思っていたのですが、やっていくうちに時間を忘れるほどに夢中に制作をしてとても楽しかったです。
- ・なかなかできないことなので楽しかった。うまくいかなかったけどおもしろかった。
- ・ツノ作ってない。わすれてたびえん
- ・ねん土で何か作れることはあまりないので作れて楽しかったです。
- ・むずかしくて、つまんないのかなって思った。でも、めっちゃ楽しかった。
- ・講師の方たちが気さくに話しかけてくれたので、楽しく気軽に話すことができてよかったです。めっちゃ楽しかったです!!またやりたい! たのしかった!!またやりたい!!
- ・ねんどをつくるのは、とても大変だったけど、つくっていくにつれて少しずつ作品をつくる大変さを知ったうえで楽しさもでてる。
- ・困っていたらアドバイスをしてくれたおかげで、思っていたとおりの物が、作ることができたので、よかったなと思いました。
- ・自由に作品を作ることができたので、思いのままに粘土をこねたり、形を作ったりできた。
- ・むずかしかつたけど、コツをつかめばたのしかった。
- ・あまり粘土をつかった作品をつくる機会が少ないので、きょうな体験になったと思います。教えてくださった人も、ていねいに教えてくれたので自分のスキルアップの機会になりました。
- ・思うがままの鬼が作れてよかったです!
- ・あまり焼き物について詳しくなく、経験事だったので面白かったです。
- ・他の学校の人と会えて少々仲良くなったので良かったです。
- ・美大の方が、道具の使い方を教えてくれたので、スムーズに形をつくることができました。
- ・土粘土の感触が好きだった。やってみると意外とハマって、集中して取り組んだ。また機会があれば参加したいです。
- ・とても楽しかったです!先生がたが優しくかったです!むずかしくて困っていたらアドバイスをくださりとても嬉しかったです!またきかいがあれば参加したいです!
- ・楽しかった。とにかく楽しかった。今回時間が少なかったから最後思うがままに作れずあせってしまっただけ全体的に見て、とても楽しいなと思いました。
- ・教えてくれた人(女の人)がたたくさんアドバイスをしてくれてやさしかったし、かわいかったです。
- ・教えてくれたお姉さんがやさしくてかわいかったです。
- ・今回初めてこういう作品に挑戦しましたが、ていねいに教えていただき楽しく作ることができました。他の中学校の子とも仲よくなれてうれしかったです。

■その他の意見や感想(アンケートより)

- ・今回は「知立の鬼」というテーマだったけど、違うものも作ってみたいと思いました。
- ・初めて鬼を作ってみて、粘土で作品をつくることは、とても難しく、楽しいことだと改めて思いました。
- ・またこのような出前授業をやってほしいです…!!
- ・楽しくて、イメージがたたくさん広がった。
- ・話しかけやすい方が講師だともっと楽しくなると思います。
- ・図書館周辺にある野外彫刻は、宇宙から降ってきたものかと思ったからビックリ!!
- ・焼き物以外にもいろいろな芸術にふれたり、作ってみたいする機会をもっとつくってもらえるとよりうれしいです。
- ・粘土を形にするのはちょっと難しかったけど、楽しかったです。
- ・大満足!
- ・もっと時間を長くしてほしいと思いました。
- ・本格的に大きな粘土を使った作品をつくるのは初めてだったので楽しかったです。

【知立中学校 寺嶋賢志先生 コメント】

中学校3校の美術部員で「知立の鬼」をテーマに立体作品に取り組みさせていただきました。夢中になって取り組む子供たちの姿を見て、土を扱う作品制作の魅力が改めて感じました。迫力ある鬼から、かわいらしい鬼まで各々が思い描く「知立の鬼」が表現されていました。

出前授業での子供たちへの技術指導や授業実施後の作品の焼成・運搬・展示といった様々な過程でのみなさんのご協力に感謝します。

寺嶋賢志先生



知立の鬼

野外彫刻プロムナード20周年記念事業「出前授業」記録
中学校美術部 陶彫作品展

講師：永江 智尚氏 (愛知教育大学 美術教育講座 准教授)
対象：知立・知立南・竜北中学校 美術部 (34名)
日時：令和2年12月5日(土) 12:30～16:00
場所：知立中学校 美術室

制作工程

1 知立の鬼をイメージし、アイデアスケッチを作成する(事前準備)

2 板状の粘土2枚のうち、1枚を曲げて、もう1枚に重ねる。



3 1のアイデアスケッチをもとに、目や口をあけたり、角や飾りをつけたりする。



4 完成!

